

# 安全部会のロードマップ

平成 17 年 9 月 7 日

## 1. 目的

安全の問題はわれわれのあらゆる領域に存在しているが、安全安心な社会の構築を目指すためには、いずれの領域においても多面的かつ多様な研究を継続的に推進する体制が必要であり、その成果を教育及び啓蒙活動に反映することが重要である。化学工学会の会員が多く所属しているプロセス産業に関わる安全問題も同様であり、近年の産業の高度化に伴う設備の複雑化、新規技術の導入、技術革新、新規物質の発現、法規制・行政指導内容の変化等から派生する様々な問題に加えて設備の老朽化への対応等、環境の変化に対応できる新たな安全への取り組みが求められており、「持続的発展を担う次世代安全学」を目指して複雑・多岐にわたる安全問題を解決するため、産官学の関連機関とも連携を図り、学術的技術研究・安全技術者生涯教育・安全思想の啓蒙活動を通して社会に貢献することを目的とする。

## 2. 基本理念

プロセス産業における安全の維持向上のための安全技術のセンターとして研究・教育・啓蒙活動の拠点的役割を果たすため、様々な分野で活躍する安全技術者・安全研究者間の意思疎通を図り、関連機関とも協調しながら安全に関わる研究を推進し研究成果を社会に還元する。また化学工学の総力を結集してプロセス産業界における体系的な安全教育構想に基づく教育プログラムを作成し、安全技術者生涯教育を提供するとともに安全思想の啓蒙活動を推進する。

そして、従来の学問体系の枠を超えた次世代安全学としての学理の体系を確立するとともに、基礎工学をベースとしてプロセス産業の全ライフサイクルにわたってパランスのとれた学問領域の確立と研究活動の推進に努める。

## 3. 今後 4 年間の活動目標

現在の各研究活動領域での活動内容の充実と新たな活動の展開を目指すこととする。

### (1) プロセス産業の安全に関わる研究活動領域

現在、部会メンバーが自主的研究を行うWG (Working Group)活動および化学工学会関係機関・企業等からの委託研究などの研究を中心に活動している。

- 新たなWGを立上げ安全部会の更なる活性化につなげる。

### (2) 安全思想の啓蒙・理解および情報普及に関する活動領域

現在、「安全講演会」、「安全サロン」を定期的で開催しており、化学工学会秋季大会の安全シンポジウムで研究成果等を発表している。またメールマガジン「プラ

ントの安全を考える」を発行している。

- 安全講演会に取り上げるべき魅力ある重要なテーマを選定するとともに、講演会出席者等からの要望を聴取するための施策を検討する。
- 本部行事、特に秋季大会シンポジウムへの部会メンバーの積極参加を促進する。

(3) 安全技術者の安全教育に関する活動領域

現在、安全性評価手法、変更管理、物質危険などに関する「安全セミナー」を開催している。

- 安全セミナーコースを増設し、安全技術者教育の拡充を図る。

(4) 部会メンバーとのコミュニケーション、情報伝達手段の拡充

- 部会活動やトピックスなどの情報を部会メンバーに伝えるとともに、部会員から部会活動への要望など意見を収集する方法を検討する。
- 更に広い分野から部会活動への意見などを収集する。

(5) 他部会、他学会との交流、情報交換、共同研究を推進する。

(6) 部会運営体制の見直し、部会規約の改定等

#### 4. アクションプラン

今後 4 年間の活動目標の実現するため、運営委員会の中に各小委員会（仮称）を設置して具体的な施策を検討する。

(1) プロセス産業の安全に関わる研究活動領域

「部会研究課題検討小委員会（仮称）」を設置し下記の課題を検討する。

研究テーマの発掘、検討に加えて、WG 主査および参加メンバーおよびの候補選など、新WG の立上げまでを支援する体制を整える。（2005 年 11 月設置を目標）

部会の活性化のため、広い分野から部会活動への要望などを収集し、取り上げるべき研究課題や活動方法を検討し実行計画を立案する。（2005 年度中を目標）

(2) 安全思想の啓蒙・理解および情報普及に関する活動領域

安全講演会企画委員会(既設)において、講演会に取り上げるテーマを選定するとともに、講演会を情報提供の場から問題討議の場として、魅力ある安全部会とするため講演会出席者からの要望を聴取し、部会活動へ積極的に参加してもらう施策を検討する。

（2005 年度中を目標）

(3) 安全技術者の安全教育に関する活動領域

安全教育プロگرام委員会（既設）を始動させ下記の課題を検討する。

安全教育プロگرامの整備

安全教育コースおよび教育内容を確定、テキストの作成、講師の選定等を実施する。

（2006 年度に新セミナーコースを開講する）

#### 安全技術者教育の拡充

- 大学等での安全関連の教育カリキュラムを支援するためのセミナーを開設する。
- 安全技術者教育の拡充のための安全教育カリキュラムの長期計画を立案する。

#### (4) 部会メンバーとのコミュニケーション、情報伝達手段の拡充

運営委員会において、部会活動の状況やトピックスなどの情報を部会メンバーに伝えるとともに、部会員から部会活動への要望など意見を収集する方法を検討する。

現在発行している安全ニュースの内容を検討する。

安全部会HP (Home Page)の開設を検討する。

#### (5) 他部会、他学会との交流、情報交換、共同研究を推進する。

##### 安全シンポジウム等への参加促進

運営委員会の中に「安全シンポジウム小委員会(仮称)」を設置し、本部行事、特に秋季大会シンポジウムの安全セッションへの参加を軸にシンポジウムの企画、発表者の選定、運営など積極的な対応を促進する。

##### 他部会および他学会との共同研究・交流の推進

運営委員会において、他部会および他学会の研究テーマを確認し、安全部会との共同研究の可能性があれば必要に応じて共同研究の体制を検討する。

#### (6) 部会運営体制の見直し、部会規約の改定等

運営委員会において、都度、見直し改善を行う。

### 5. 実現のための課題

#### (1) 部会活動の活性化と部会への積極参加

プロセス産業における安全技術のセンターとして研究・教育・啓蒙の拠点的役割を果たすため魅力ある研究テーマへの取り組み、産官学の協調など広い分野から人材の参画を呼びかけ部会の活性化を図る。

#### (2) 産官学の連携の場の推進

プロセス産業における問題解決ニーズと大学・研究機関等が持っているシーズを発掘し、WG 研究活動などの場で共通課題として共同研究を推進する。

#### (3) 部会運営体制の見直し

#### (4) 部会運営のための財政基盤の整備

以上